

ご協力いただける方、募集中です！



ボランティアさん

子どもと遊ぶのが好きな方、事務局のお手伝いを一緒にして下さる方、お待ちしております。

小児待合室活動日

毎週月曜日・木曜日、第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時

後援会員さん・ご寄付

この団体の活動は、みなさまの会費とご寄付や助成金で行っています。
ご理解とご協力をお願いいたします。

後援会員…ご入会頂くと「こどものちから通信」をお届けします。

◆個人3,000円/年 ◆団体(1口)10,000円/年

ご 寄 付…みなさまのあたたかいお気持ちは、
きょうだいさんの笑顔を増やす活動に
大切に活用させていただきます。

◆<こどものちから>の1年は、4月から翌年3月までです。

お振込先

郵便振替番号:00170-7-571697

□ 座 名:特定非営利活動法人こどものちから

お問い合わせ・発行元

「特定非営利活動法人こどものちから」事務局
〒136-0073 東京都江東区北砂 5-20-18-211
TEL:080-6867-6135

メールアドレス:tarumifight@yahoo.co.jp

※独立した事務所がございませんので、ご連絡は上記メールアドレスまで
お願いいたします。

Facebook:<https://www.facebook.com/kodomonotikara>

ホームページ:<http://kodomono-chikara.org/>

<協力団体>大原薬品工業株式会社

株式会社ソフトクリエイトホールディングス

クリフォードチャンス法律事務所

たくさんの個人の方々や企業の方々から頂きました。
いつもお心に留めていただきありがとうございます。

代表 井上るみ子



病院に連れて来られても病棟に入れないうきょうだいさんに
遊んでもらう活動をしています。



メリークリスマス&ハッピーニューイヤー

<制作者> スタッフ・さいとう はるみ

No.22 2021.12月発行

新型コロナウイルス感染症が世界中で大流行して2年目。夏にはオリンピックやパラリンピックが無観客という状況下で行われました。様々な意見が出る中での開催でしたが、たくさんの感動がありました。病院内での対面活動は、現在も休止のままです。ところが荒井師長のおはからいで、7月から毎月1回、オンラインで「おはなし会と工作」の時間を病棟にお届けすることができるようになりました。毎回、病棟と貸し会議室のFunwork株式会社を荒井師長のご招待ZOOMでつないで開催しています。

- 新型コロナウイルスの感染症対策のため、残念ながら昨年3月26日(木)の待合室活動を最終日に休止状態となり、未だ活動再開には至っておりません。(;。;)
- ◆6月24日(木) 難病のこども支援全国ネットワーク主催「フレンドリーダ-養成講座」講演
 - ◆7月9日(金) 第1回オンライン病棟訪問「お話し会 & 工作」
 - ◆7月10日(土) 大妻女子大学、「ボランティア説明会」参加
 - ◆7月14日(水) 株式会社ジャックスより感謝状をいただく
 - ◆7月18日(日) 子どもを亡くした親の会、協力
 - ◆8月24日(火) 第2回オンライン病棟訪問「お話し会 & 工作」
 - ◆9月10日(金) 第3回オンライン病棟訪問「お話し会 & 工作」
 - ◆10月28日(木) 上智大学「生と死のケアリング・コロキウム」、講演収録
 - ◆10月19日(火) 上智大学「生と死のケアリング・コロキウム」、講演公開
 - ◆10月28日(木) 第4回オンライン病棟訪問「お話し会 & 工作」
 - ◆10月28日(木) 難病のこども支援全国ネットワーク主催「フレンドリーダ-養成講座」講演
 - ◆10月30日(土) 病弱教育研究会、東京大会、参加
 - ◆10月31日(日) 病弱教育研究会、東京大会、講演
 - ◆11月26日(金) 第5回オンライン病棟訪問「お話し会 & 工作」
 - ◆11月26日(金) 協働ステーション中央主催、「つながりマルシェ」収録
 - ◆11月28日(日)・29日(月) 公益財団法人社会貢献支援財団主催「社会貢献表彰式」受賞
 - ◆スタッフ・ボランティアによる「クリスマス工場」計4回実施
 - ◆12月17日(金) 通信22号発行

第1回オンライン「おはなし会と工作」

♡日時:7月9日(金)午前11時~12時
♡テーマ:「なにが好き? なにが出るかな?」
切り込みの入った2枚の紙皿に絵を描いて、くるくる回すと下の絵に変わるよ(*^▽^*)
豊かな発想で作品を作ってくれました♡

「さなぎはヘラクレス」に、
「魚は人魚姫」に、
「種はハム太郎」に、
「宝箱のふたあけると宝石がたくさん」

どの作品も本当にすてきでした♡
この様子は、病院のHPに掲載されました。



予定の変更や公演中止

- ◆院内での「こどもまつり」、「病院でプラネタリウム」、「クリスマス工場」は、中止させていただきました。
- ◆網膜芽細胞腫の子どもをもつ家族の会「すくすく」の勉強会は、ZOOMにて開催されたため、保育中止。

今後の予定

- ◆12月23日(木) 第6回オンライン病棟訪問「お話し会 & 工作」
 - ◆1月23日(日) 団体内研修会「活動内容の再確認」開催
 - ◆2月21日(日) 「藤田浩子さんのおはなし会」開催
 - ◆5月 8日(日) 総会
 - ◆6月17日(金) 通信23号発行
- 詳細は決定しだい、ご連絡いたします。



※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更されることがあります。

第2回オンライン「おはなし会と工作」

♡日時:8月24日(火)午前11時~12時
♡テーマ:「ネコと一緒にタップダンス」

裸ん坊のネコちゃんに色を塗ったり、レースをつけてかわいくドレスアップ。ネコちゃんが踊ると足につけたペットボトルのふたがカタ!カタ!



病棟のお友だちが「猫踏んじゃった」を弾いてくれました。声優で絵本専門士の富田泰代さんが「もも」「はぐ」を読み聞かせ。タップダンスも迫力満点の読み聞かせも楽しかったで〜す(´_`)

病棟では看護学生さんの見学がありました。





活動をご理解・ご支援くださる企業や団体・個人のみなさまからたくさんのご寄付やご協力をいただきありがとうございます。

- ◆株式会社アデランスさま
いるかの形をしたかわいい爪やすりと手鏡、北海道大学発行の「サポートブック」をいただきました。
活動が再開されましたら子ども達に使ってみたいと思います。
- ◆グリフォードチャンス法律事務所さま(イギリス本社の皆さま)
頂いた活動資金は、待合室活動や交流会イベント活動の運営費として活用させていただきます。
- ◆ソフトクリエイティブホールディングス株式会社さま
ご寄付とシリコン粘土をいただきました。
オンラインおはなし会にて、活用させていただきます。

公益財団法人社会貢献支援財団主催「第56回社会貢献者表彰」



11月29日(月)帝国ホテルにて、公益財団法人社会貢献支援財団さまから「第56回社会貢献者表彰」をいただきました。
ご推薦くださった「認定NPO法人 病気の子ども支援ネット」の理事長、坂上和子さんに深く感謝申し上げます。

今回の受賞は40件。「人命救助」「日本や東南アジアで生活困窮者のための生活支援や学習支援」「被災地支援」「難病のお子さんやご家族への支援」をされている方や団体でした。東大病院の近くで宿泊施設を運営されている「認定NPO法人ぶどうのいえ」や「公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を」、パキスタンで活動中に亡くなられた中村哲医師が結成された「ペシャワール会」の方々もいらっしゃいました。

社会的弱者や女性達、子ども達の明るい未来につながる「今」を宗教や国境の垣根を越えて支援していました。
素晴らしい活動をされているみなさまと同席させていただけたことに、感謝と身の引き締まる思いを感じました。
そして「これからがんばろう！」と思いを新たに致しました。
副賞は、お子さんやご家族の笑顔のために活用させていただきます。
支えてくださるたくさんのみなさま、本当にありがとうございます。



オンライン病棟訪問「お話し会 & 工作」

第3回 オンライン「おはなし会と工作」
 日時:9月10日(金)午前11時~12時
 テーマ:「おつきみ」
 紙粘土でお団子作りに挑戦。
 おいしそうなお団子がたくさん出来ました♡
 大きいのや小さいのやいろいろ。
 その中に黄色の粘土で作った芋あんが入っているお団子もありました😊
 どれもみんな
 おいそうでした♡

第4回 オンライン「おはなし会と工作」
 日時:10月28日(木)11時~12時
 テーマ:「お弁当作って ハイキング」
 紙粘土でにぎりやサンドウィッチ作りに挑戦。
 おいしそうなお弁当がたくさん出来ました♡
 ボランティアさんがフェルトで作ったおかずの数々は、子ども達にも親御さんにも大絶賛!!
 赤と青のリュックもすてきでしょ! 病室からも参加してくれました。

第5回 オンライン「おはなし会と工作」
 日時:11月26日(金)11時~12時
 テーマ:「パンダ」
 上野動物園の「シャオシャオ」「レイレイ」がいよいよ一般公開!!
 そこでシリコン粘土でパンダ作りに挑戦。
 名前もつけて、いろんなパンダがたくさん出来ました♡
 富田さんの読み聞かせや病室からも参加してくれて賑やかな時間でした♡

第3回 オンライン「おはなし会と工作」
 日時:9月10日(金)午前11時~12時
 テーマ:「おつきみ」
 紙粘土でお団子作りに挑戦。
 おいしそうなお団子がたくさん出来ました♡
 大きいのや小さいのやいろいろ。
 その中に黄色の粘土で作った芋あんが入っているお団子もありました😊
 どれもみんな
 おいそうでした♡

第4回 オンライン「おはなし会と工作」
 日時:10月28日(木)11時~12時
 テーマ:「お弁当作って ハイキング」
 紙粘土でにぎりやサンドウィッチ作りに挑戦。
 おいしそうなお弁当がたくさん出来ました♡
 ボランティアさんがフェルトで作ったおかずの数々は、子ども達にも親御さんにも大絶賛!!
 赤と青のリュックもすてきでしょ! 病室からも参加してくれました。

第5回 オンライン「おはなし会と工作」
 日時:11月26日(金)11時~12時
 テーマ:「パンダ」
 上野動物園の「シャオシャオ」「レイレイ」がいよいよ一般公開!!
 そこでシリコン粘土でパンダ作りに挑戦。
 名前もつけて、いろんなパンダがたくさん出来ました♡
 富田さんの読み聞かせや病室からも参加してくれて賑やかな時間でした♡

☆クリスマス工場☆
～スタッフ・ボランティアさん達とがんばりました～

お友だちに『笑顔』が届きますように！！



◆開催日時 & 開催場所 & 参加人数

- ①10月16日(土) 午後1時～午後5時 中央区月島社会教育会館 19名参加
- ②10月24日(日) 午前10時～午後5時 協働ステーション中央 20名参加
- ③11月 7日(日) 午後1時～午後5時 中央区築地社会教育会館 25名参加
- ④11月23日(火) 午後1時～午後5時 中央区築地社会教育会館 20名参加



新型コロナウイルス感染症が世界中で大流行して2年目。病院内での対面活動は、現在も休止のままです。一昨年まで行っていた19階職員用レストランをお借りしての交流会も昨年に引き続き、全て中止にしました。

新規感染者数が10月に入って急激に減少したので、スタッフとボランティアでクリスマスカード作成を公的施設をお借りして実施しました。感染対策を充分にとりながらの4日間。のべ84名の参加がありました。おかげさまで100枚を超えるすてきなカードができました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

昨年に引き続き「ワイリングペーパークラフト」です。今年は、パステルアートの手法も取り入れてみました。参加してくれた皆さんが、「久しぶり～！」「初めまして」と挨拶しながら、アツという間に打ち解けて、和気あいあい。とても和やかに楽しく、カード作りに励みました。



「子どもが喜んでくれるようなキャラクターって何だろう？」
「このカードを受け取ってくれる子ども達に『楽しい』『嬉しい』気持ちが伝わるといいな～」
「少しでも子どもたちのために活動できて嬉しいで～す。」



「喜んでくれるといいな～」
おしゃべりの中心は、やっぱり子ども達のことでした。
今年も私達からサンタさんへのお願いは、「早く子ども達に遊んでもらえますように・・・」

まだ安心出来ない新型コロナウイルス感染症。今も日常生活はコロナ前に戻っていません。それならば、より良く柔軟に変化して「今」を楽しく過ごしたいものです。一日も早い収束と活動再開とみんなの幸せを祈っています。

絵本紹介
静岡県立こども病院医学図書室 塚田薫代

～とらどし～

『とらのゆめ』

こどものとも年中向き2021年12月号福音館 タイガー立石
福音館こどものとも傑作集1999年発行の復刻版です。
緑のトラっていうだけでもシュールなのに、その夢の中の物語なので摩訶不思議な世界が広がります。ダルマになったり果実が変わったり、次々形をかえてゆくトラたちは現代アートのようで、大人も理屈抜きでふしぎの世界に浸れます。
2022年のとらどしを前に、タイガー立石の展覧会も開催されています。



『トラといっしょに』

徳間書店 ダイアン・ホフマイアー 2020
絵に描いたトラが夜に抜け出して一緒に冒険する物語って云うと一休さんを思い出します。南アフリカ生まれのダイアンさんには生き物って身近だったのですね。怖がりのトムだけ大きなトラと一緒に、怖い気持ちだって乗り越えられます。美しい色彩と手触りが伝わるトラの毛並みが印象的な絵も素敵！ と思ったらトムが美術館でみた絵は、アンリルソーだったのですね。

看護師の立場から提案 小林文香

アフリカ、マサイ族の男性2人が砂漠で立っていました。彼らは言います。「急ぎすぎた。急いで歩きすぎたので、心を置いてきてしまった。心が追いつくの待っている」と。大自然に生きる人々も、心と身体がともにある事を大切にしているのですね。
病気ではないけれど、何だか不快、どうも体調が良くない、それでも異常がないと言われる現代病。本来、人間の身体はどこかに不調があるとごく初期から身体のメンテナンス機能が働いて、自分で治せるようになっていきます。目にゴミが入れば涙を流し、緊張で身体が硬くなるとあくびをしたり、思いを溜めこむため息で吐き出したり。そうやって、不快な部分に対応して身体が治ろうとしているのです。それを無視して使い続けていると、身体は正常な部分に負担をかけながらも、何とかバランスをとろうとする… いじらしいですね。それが身体感覚を麻痺させるのです。麻痺した感覚はスッパが効きません。
気がついた時に身体の声をお聞きしましょう。痛いところ、辛いところはないかしら… ずっと聴いたことがないと慌てずに 触れて 温めて 労り 休みましょう。愛情という栄養を込めて、今年頑張った貴方へ